

学校教育目標：かかわり合いをとおして 夢に向かってがんばる子ども

校 訓 ～ 正しく 強く 美しく ～



美祢市立麦川小学校
平成28年 2月号

あいさつ プラス 一言



「寒いね」と話しかければ、「寒いね」と答える人のいるあたたかさ

立春を過ぎ、空から降る雪もいつの間にか雨に変わり、少しずつ暖かな日差しを感じることでできる季節になりました。とはいえ、今年の冬は寒い日が続きました。10cmを超える雪が積もったり、水道管が凍って水が出なくなったり、美祢でも何年かぶりの寒波の襲来だったようです。

さて、冒頭の短歌ですが、ご存じの方も多いと思いますが、「サラダ記念日」で知られる歌人 俵 万智 さんのものです。

この短歌からは、恋人はもちろんですが、家族や友達、さらには地域の人など、周りに誰かがいてくれることによる心の温かさが伝わってきます。それは同時に、そうした周りの人とコミュニケーションをとることの大切さを考えさせられます。

私自身今年の冬は「おはようございます。」の後に、何度「寒いですね。」と話をしたことでしょう。たった一言ですが、その一言が次への会話を広げ、その人との人間関係を深めることができたように思います。

その昔、先生になり立ての頃に「『おはようございます。』が言えて当たり前、プラス一言が言えて一人前。」と言われたことがあります。小学生の子ども達にとっては、なかなか難しいことだと思いますが、こうしたことも高学年から少しずつできるようになればと思います。そのきっかけになるのが、登下校時のあいさつだと思います。保護者の皆様、地域の皆様、朝でも帰りでも、子ども達に出会ったときに、「あいさつ プラス 一言」をかけていただけると、幸いです。よろしくお願いいたします。

4つの重点目標の達成に向けて

11月末に実施した学校評価の結果をもとに「学力」「心情」「体力」「連携」の4プロジェクトにて本年度の取組を振り返り、来年度に向けての改善方法を検討しました。学校運営協議会にて報告しましたので紹介します。

1 確かな学力の定着

一人ひとりの基礎学力と活用力の育成
すすんで毎日読書しよう(チャレンジ目標)

朝学習と家庭学習(予習・復習)の充実

基礎学力の定着と活用力を育む授業づくり

すすんで毎日読書しよう



《朝学習(月:読書、火・木・金:算数)》



《研究授業 & 研究協議》



《給食準備中の読書活動》

- 美祢市教委が提唱している「教えて 考えさせて 定着させる」授業と、本校の学習過程「むぎ・が・わ・パワー・ふる」との統合のさらなる推進
- 主体的に学習に取り組ませるためのガイド役の指導充実(複式学級)
- 個別指導の充実(授業中・サマースクール、やまぐち学習支援プログラムの活用)
- 予習・復習の定着、家庭学習の充実を図るための啓発活動の実施
- 非常勤講師や管理職の活用による複式授業の単式化
- 読書活動推進の啓発活動の実施、帰宅後の読書時間の設定

改善方法



2 豊かな心情の育成

相手の立場を考えた言動ができる児童の育成
大きな声で自分からあいさつをしよう(チャレンジ目標)

道徳教育の充実

児童主体の集会活動

児童目標の掲示

教育環境の整備



《人権教育参観日》



《スマイル集会》



《あいさつの達成度「心の太陽」》



《花の栽培》

改善方法



- 児童理解をもとにいじめの未然防止・早期発見への全校体制の取組
- 児童を主体とした活動による思いやりの心を育む教育活動の実践
- 返事やあいさつの指導の徹底と温かい学校づくりの推進
- 言語環境の整備（正しい言葉づかい、相手の心情に配慮した言葉の選択、「さん」付け呼び等）

3 健康な身体づくりの推進

体力向上と食育を推進し基本的な生活習慣づくり
による健康な身体づくりの育成

体力向上に向けた取組(健康タイム、昼休みの全校遊び)

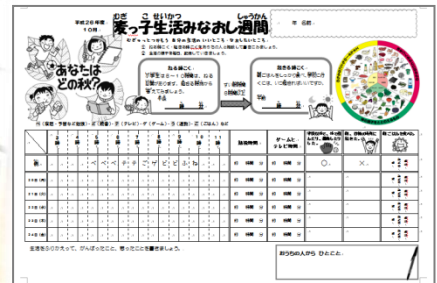
家庭との連携



《新体力テストによる課題の把握》



《体育委員会を中心とした活動》



《麦っ子みなおし週間アンケート》

改善方法



- 課題（帰宅後の運動量の確保、十分な睡眠時間、バランスのよい食事、ゲーム時間の短縮等）に対する家庭との連携の在り方の工夫
- 健康タイムを中心とした運動習慣づくりの継続
- 「麦っ子見直し週間・チャレンジ目標カード」等の継続による啓発

4 保護者・地域との連携

学校課題を共有し、協働で子どもを育てる組織体制づくり

課題解決に向けて

学習支援

地域に感謝を伝えよう！

地域行事への参加



《熟議の開催》



《地域の先生の炭坑節指導》



《麦川ありがとう作戦》



《麦川十五夜祭(よさこい)》

改善方法



- 熟議の計画的な実施による課題を協働で解決する組織体制の構築
- 「麦っ子応援団」による継続可能な支援の教育課程への位置づけ
- 学校・地域の双方向に互恵性のある取組の推進
- 学校だよりやホームページによる情報発信の工夫